

開講科目名 / Course	老年看護学概論	
ターム・学期 / Term・Semester	2025年度 / Academic Year 1 学期 / First	
開講区分 / semester offered	1 学期 / First	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	2	
主担当教員 / Main Instructor	小野 美喜	
担当教員名 / Instructor	小野 美喜	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	8	
科目の目的と概要	高齢者の身体的心理的社会的特徴と健康的な暮らしに必要な医療保健福祉制度を理解するとともに、高齢者を取り巻く倫理的課題をとらえ、人生の最期まで健やかに生活を送ることを支援する看護の役割について学ぶ。	
到達目標	1. 高齢者の加齢に伴う身体的精神的社会的特徴を説明できる。 2. 高齢者の暮らしの現状と健康課題を述べることができる。 3. 高齢者を支援する医療保健福祉制度を述べるができる。 4. 高齢者を取り巻く倫理的課題と権利擁護について議論できる。 5. 高齢者の健康生活を支援する看護の役割を述べるができる。	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能、4.連携協働・リーダーシップ、5.地域性・国際性、6.探求心と創造力	
授業計画	01. 高齢者の身体的心理的社会的特徴 02. 高齢者の暮らしと健康課題 03. 高齢者を支える保健医療福祉制度 04. 高齢者を取り巻く倫理的課題 05. 高齢者の権利擁護と看護役割 06. 高齢者の療養の場と看護の連続性 07. 高齢者ケアと多職種連携 08. 高齢者の看護と理論	
その他の授業の工夫	高齢者の身体的心理的社会的特徴と、高齢者の健康的な暮らしに必要な医療保健福祉制度の基本的な知識を小テストで確認をし知識習得を深める。また、授業内の重要なテーマについては意見交換するアクティブラーニングを用いる。	
時間外学修	事前学修：事前に授業内容のテキストを読み予習をする（8h）。 事後学修：授業資料や小テストの復習をする（8h）、授業で提示した課題のレポートをまとめる（6h）。	
評価方法と評価割合	筆記試験（80％） レポート（15％） グループワークの参加姿勢（5％）	
テキスト	ナースング・グラフィカ 高齢者の健康と障害（メディカ出版）	
参考書	高齢社会白書（内閣府）	
履修する上で必要な要件	特になし	
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	小野美喜：看護師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	臨床活動にある高齢者の課題や具体的事例を例示し、看護について考える授業を行います。	